

経 過 報 告

本日ここに萩市倫理法人会を設立するにあたり、専任幹事烏田栄二、謹んで今日に至るまでの普及活動の一端をご報告致します。

このたび山口県で12番目の単会である萩市倫理法人会が宇部市倫理法人会の分封により設立をさせていただく運びとなりました。全国約700カ所の市区町村にある倫理法人会、この学びの場をこの日、萩市に設立できたのは、親単会の皆様はもとより、山口県の役員の皆様、また各単会会長・役員・会員の皆様のご支援があつてこそだと、改めて心より感謝を申し上げます。

私たちの親単会である宇部市倫理法人会は、活気があり、入会者、参加者が多いということで、倫理ネットワークの拡充への道にも取り上げられるなど、全国からも注目をされる山口県が誇る単会となっております。

そんな、宇部市倫理法人会の歴史を辿りますと、平成18年8月に、初代白井義美会長のもと、宇部市準倫理法人会として開設され、平成22年8月、2代目 大久保了会長時に100社を超えて、正式に宇部市倫理法人会となりました。そして3代目、澤田誠会長時には、若手役員の育成と開催曜日を金曜日に変更するなどの改革に取り組まれました。そして3年前に4代目となる現・松永秀夫会長になつてから今日に至るまで、36ヶ月連続で毎月の入会者があり、200社以上の仲間を増やされて、昨年10月に山陽小野田市倫理法人会を分封設立、そして本日の萩市倫理法人会の分封設立に至るまで普及の鬼と化し、ミスター分封という異名を手に入れました（笑）

開設当時から設立に向けて汗を流された皆様の想いにご苦労は、計り知れません。そして、藤麻功参事が、約30年前に、山口県の地に倫理活動の一石を投じられたその経緯と思い、本があることを、私たちは決して忘れてはいけません。

さて、この度、明治維新150年という節目の年に、萩市倫理法人会が設立された経緯についてですが、いきなり今日、この日の設立を迎えられたのではなく、たくさんの奇跡や努力、ご支援があつてこそであります。

その発端は、3年前、宇部市倫理法人会の松永秀夫会長と、萩市在住で現・県普及拡大委員長の金子聖司氏の出会いから始まっていたのでしょう。

その頃から、いずれは萩市にも倫理法人会を設立したいね、という思いで、二人は一緒に
なって倫理活動に邁進されてこられました。

これを実現するべく昨年度、宇部市倫理法人会の松永会長が、2018年の7月21日、
分封により、萩市倫理法人会を設立すると宣言されてから本格的にスタート。

その設立趣旨は、明治維新150年の節目の年、明治維新胎動の地である萩市が、今もなお、
志高く、背筋を伸ばし、学ばれている人が多い地域であるということを全国に指し示そう。
日本一の単会にして、名実ともに、萩市が日本における学びの聖地という確固たる地域
ブランドを確立させようという、高い目標でありながらも、なんともワクワクするような
気持ちになるものでした。そしてその気持ちは今この瞬間も続いていて、私自信を突き
動かしています。

日本一を目指すには、維新の志士たちに大きな影響を与えた松下村塾のある松陰神社。
ここを拠点として萩市倫理法人会の活動を行っていったら良いなく、地域のみなが集い、
地域が元気になっていったら良いなくという思いをもって昨年末から普及がスタート。

この想いに、松陰神社、上田俊成名誉宮司と、青田國男宮司にご賛同を得られたことを
皮切りに、協和建設工業株式会社の田村充正会長をはじめ、地域を代表する経営者の皆様に
続々とご賛同をいただくことができ、設立に向けて順調な滑り出しでした。

4月からは、役員候補メンバーが集まって毎週開催していた設立準備委員会では、対象先の
リストアップと、訪問結果の報告、情報共有を徹底。日々の普及活動において、毎日入会
申込書回収の速報がグループメッセンジャーに飛び交い、嬉しい気持ちとともに、絶対に
できる、の自信が高まる日々を楽しんでいました。

ただ何日も続く普及活動、メンバー全員仕事がある中で、なかなか普及の訪問スケジュール
が調整できないことや結果が出せないことに、責任を感じたり、ストレスを感じたりという
状況も出てきて、途中で退会していくメンバーや離脱するメンバーがいたのも事実です。

しかしそんな時も、誰かを責めたりすることもなく、常に前だけを向いて明るく元気に
仲間づくりを進めていきました。

特に、金子聖司県普及拡大委員長は、昔、ヤンチャしていた頃を思い出したかのように、特攻隊長として検問突破ならぬ、訪問する各企業さんの受付を満面の笑顔で突破し続け、その速度を落とすことなく、最後の最後までアクセル全開でぶっ飛ばし続けてくれました（笑）

そして、本日来賓としてご臨席いただいております萩商工会議所の会頭を務められる株式会社アートカンパニー、藤井敏会長にもご賛同いただき、萩オールスターズといっても過言ではない顔ぶれの地域を代表する皆様に名を連ねていただき、6月19日までに、113社の登録を完了させて、無事に研究所より設立承認をいただくことが出来ました。

一方、設立に備えて5月からは宇部市倫理法人会モーニングセミナーでの運営（役回り）を萩市に所属するメンバーで行わせていただくなどして設立の準備も同時に進めてきました。

6月17日の日曜日からは、ここ松陰神社立志殿にて、本番のモーニングセミナー同様に、同じ曜日、同じ時間、同じ会場において、毎週開催してきたプレモーニングセミナー。松永秀夫会長、中尾崇子専任幹事、岡村昭事務長、澤田誠副幹事長をはじめとする宇部市倫理法人会の皆様のご協力と、ご指導なくしてこの日を迎えることはできませんでした、本当にありがとうございます。

本日、設立式典の日を迎え、新たに誕生する上田俊成会長の掲げるスローガンを、ここにお集まりくださった皆様にお伝えさせていただきます。

「やるからには日本一を目指そう！です。」

このスローガンのもと、役員・会員・地域の皆様が一丸となって、萩市倫理法人会の発展とともに、萩市の活性化に全力で励んで参ります。

明治維新150年の記念すべき年に、維新の志士たちに大きな影響を与えた松下村塾のある、ここ松陰神社。その立志殿に於いて、学びの場を再度創り上げ、日本一の学びの聖地を生み出していきます。

設立にむけて、一緒に活動してきた萩市倫理法人会役員メンバーの結束力をととても頼もしく感じています。松陰神社で開催して、名誉宮司が会長で日本一を目指しているのに、こんな運営レベルかと言われないよう、そして、地域の皆様にとって、なければならぬ存在と言っていただけのような素晴らしい会にしていこうこと。更には、日本中に影響を発信し続けることをここに誓います。

今回の設立に際して、ご支援ご指導たまわりました皆様には、改めて厚く感謝申し上げます。

今回味わうことができた産みの苦しみと産みの喜び、普及の素晴らしさ、その経験を糧に、本日から山口県倫理法人会の皆様と共に、この萩の地に倫理運動をしっかりと根付かせ、共に倫理を学び、倫理経営を推進する企業様が増えるよう、引き続き普及活動が続けて参ります。これからも、皆様のご支援ご鞭撻、よろしくお願い致します。

平成 30 年 7 月 21 日

萩市倫理法人会 専任幹事 烏田栄二